

◆ 「胃 ESD 後の再発率についての検討」

1. 研究の対象となる方

2008 年以降に当センターで胃粘膜下層剥離術(胃 ESD)を受けた方

2. 研究目的・研究の方法

ESD 治療は早期胃癌・胃腺腫の治療法として、外科手術よりも低侵襲であり、広く普及しています。ESD 治療を受けた方は一般の方よりも再発リスクが高くなるため、定期的な内視鏡検査が必要となります。今回、ESD 後の再発時期について検討を行い、経過観察の方法について評価することを目的としました。研究結果について国際・国内学会発表及び論文発表を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、治療歴、偶発症の発生状況、カルテ番号 等

4. 研究が行われる機関および研究者名

研究施設 千葉県がんセンター

担当者

内視鏡科 鈴木拓人、北川善康、南金山理乃

消化器内科 石垣飛鳥

5. 研究責任者

千葉県がんセンター 消化器内科 石垣飛鳥

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究は消化器内科の運営資金を用いて行います。本研究の実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 消化器内科 レジデント 石垣飛鳥

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)